

令和7年度 第1回富里市図書館協議会 会議録

とみらいテラス(富里市立図書館)

- 1 期 日 令和7年7月15日(火)
開会 午後3時00分
閉会 午後4時15分
- 2 場 所 富里市立図書館2階多目的室
- 3 出席委員 会 長 寺内勝也
副会長 三浦光子
委 員 森口真美子
委 員 戸谷友紀
委 員 相川咲子
委 員 竹崎めぐみ
委 員 足立由美子
委 員 桑折律子
委 員 齋藤寅彦
- 4 出席職員 教育長 大澤昌宏
図書館長 吉林昌寿
図書館 武藤弘之
図書館 栗林理菜

令和8年3月17日

署名人

戸谷友紀

署名人

森口真美子

1 開会

【事務局】令和7年度第1回富里市図書館協議会を開会する。

2 あいさつ

【教育長】あいさつ

3 委任状交付

教育長から委員9名に委任状が交付された。

4 会長及び副会長の選任

会長に寺内委員、副会長に三浦委員が選任された。

5 議事録署名人の指名

森口委員と戸谷委員が指名された。

6 協議事項

【会 長】(i)の令和6年度図書館事業報告について説明願いたい。

【事務局】配布資料に基づき説明を行う。

(概要)

まず、資料1をご覧ください。

毎年継続して行っている事業に加えまして、施設の利用促進に向けた取り組みといたしまして、令和4年度から複合化事業として、図書館機能の強化と、芸術文化事業の取り組みを行ってきているところでございます。

以来、来館者数につきましては、徐々にではございますが増加してきているというところになります。

今後も、施設の活用、活性化に向けまして様々な事業にチャレンジしていきたいと考えているところでございますので、委員の皆様につきましては、本日、多様な観点からご意見をいただければと思っております。

どうぞよろしく願いいたします。

(主催事業報告)

それでは、1ページの主催事業等の報告というところになります。上段から順番にご説明いたします。まず、親子向け講演会といたしまして、7月に、市内にお住まいの、元宇宙航空研究開発機構

JAXA に勤務されていた渡辺さんによる宇宙に関する講演会を実施いたしました。

夏休み期間ということもありまして、親子合わせて 39 名の参加がございました。

(ブックトリップ事業)

次に、その下、ブックトリップ事業になります。

こちらは、夏休み期間中に、おおむね 11 月前半までに図書館で作成いたしましたブックリストの掲載の本を読んでいただいて、図書館もしくは学校図書館に読んだ本を申告するとスタンプがもらえる事業として行っているものでございます。

1 年生から 4 年生が 5 冊、5 年生から 6 年生が 4 冊、中学生は 2 冊読むことでブックトラベラーとして表彰を行うものでございます。

今回、小中合わせまして 1671 人、達成率といたしましては 53.1 パーセントと、こちらの事業については年々微増でございますが、達成数が増えているといった状況となります。

(夜の図書館探検隊)

次に、夜の図書館探検隊となります。内容といたしましては、普段見られない書庫など、職員とともにクイズに答えながら図書館の機能やあるいはサービスについて理解を深めてもらおうという講座として開催いたしました。

全 2 回、33 名の参加がございました。この事業は、コラボ事業といたしまして、市内在住のイラストレーター不二本蒼生さんの作品の中から怖い作品を展示した中で怖い内容の絵本を読み聞かせを行うといった形の不二本さんとのコラボ事業といたしました。

(ブックスタート)

次に、毎月第 2 金曜日に行いますブックスタートでございます。こちら、健康推進課で行う乳児検診に合わせて、絵本を通して親子の触れ合いの時間を作るきっかけとなるよう行っている事業となります。

こちら、12 回実施の 218 組の親子が参加しております。

(団体貸出)

次に、1 年を通じて行っている団体貸し出し図書でございますが、学校支援の 1 つとして、調べ学習用図書のなどをセットを作ります。

して、各小中学校、それと各幼稚園、それとこども園にそれぞれ貸し出し、搬送の方を行っております。

また、依頼があれば、市内学童クラブへの貸し出しも行っている状況となります。

6929 冊の貸し出しを行いました。

(雑誌リサイクル)

次に、雑誌リサイクルでございます。

こちらは、保存年限の過ぎた雑誌を再活用していただくということで、特設会場を設けまして、期間中無償で提供を行っているものでございます。

期間中、約 93 人の方に約 2000 冊の本を提供しております。

(リサイクル本フェア)

次に、リサイクル本フェアにつきましては、市内の観光交流拠点施設として建てられた末廣農場におきまして、雑誌リサイクルで残った雑誌を同じく再活用をしていただくということで行っている事業でございます。

こちら、約 338 冊の雑誌の方を提供しております。

(中高生一日図書館員)

次に、8 月 7 日に行いました中高生一日図書館員でございます。この年代では図書読書離れというものが指摘されてございます。その課題解決の 1 つとして、ここでの体験で本と、図書館への関心が高まっていたらばとの期待を持って行っている講座となります。

参加の内容といたしましては、中学生が 2 名、高校生が 4 名の参加がございました。

(親子遊び講座)

次に、親子遊び講座です。こちら、令和 4 年度より、図書館事業の強化といたしまして、親子の読書活動のお手伝いができるようにと、親子読書コンシェルジュとして専任の職員を配置し、事業を行っているところでございます。

この事業につきましては、NPO 法人ほたるの会さんのご協力により、主に自然と触れ合いをテーマに、親子が一緒に楽しみ、触れ合える場として、子どもの豊かな成長へとつなげる事業としております。

こちら 1 回実施の 26 名の親子の参加がございました。

(読書感想文にチャレンジ)

次に、読書感想文にチャレンジについても。こちらについても、親子読書支援コンシェルジュによる講座で、本への興味を持ってもらうために、選書や書き方などのアドバイスを行いました。

こちら 12 名の参加がございました。次に科学遊び教室につきましても、同じくコンシェルジュによる講座で、この時は紙を使っ
ての実験を体験していただきました。

1 回実施の 10 名の参加でございます。

(LIVE BGM)

次に、LIVE BGM in とみらいテラスと題しまして、館内で環境音楽の生演奏を行い、普段とは違った図書館を楽しんでもらおうと行った事業となります。

こちら演奏者の宮内優里さんにつきましては、他の図書館での演奏実績もあり好評であったことから、今回で 2 回目となりますが、終了後のアンケートでも、全ての方からは好評との評価をいただいた事業となります。

こちら、43 名の参加がございました。

(とみらいテラス講演会)

そして、1 ページ目の最後、とみらいテラス講演会では、こちら、東北芸術工科大学の教授であります酒井さんを講師としてお招きして、パリ南仏の印象派巡りと題しまして、芸術に関心を持っていただけの機会創出を目的に実施いたしました。

こちら、13 名の参加がございました。

(各種おはなし会)

それでは、2 ページ目、お願いいたします。

こちら、各種おはなし会となります。毎週行っている土曜おはなし会や、子ども読書の記念おはなし会、あるいは支援センターでのおはなし会など、担当職員とボランティアの方々と一緒に行っている事業でございます。

まず上から、毎週土曜日に行っているお話し会でございます。

こちらは、ひとりでお話が聞ける子供を対象に、本や昔話を楽しむ会としております。

こちら 40 回、昨年開催いたしまして、177 人の参加がございました。

次に、毎月第 4 水曜日に行っている絵本と遊ぼう親子おはなし会

につきましては、こちら図書館ボランティアもりのなかさんのご協力を得まして、平成28年7月から実施しております。親子で楽しめる手遊びやわらべ歌、絵本の読み聞かせを行っております。

昨年度については、12回開催し、95人の参加がございました。次に、例年4月の子どもの読書の日に合わせた、記念おはなし会は1回の実施となります。

こちら7人の参加がございました。次に、夏のお話し会、冬のお話し会、春のおはなし会でございます。

こちらにつきましては、昔話や大型絵本などが楽しめるおはなし会としております。

7月20日に行いました夏のお話し会につきましては、こちら2回開催いたしまして29人、12月21日に冬のお話し会を開催いたしまして、こちらについては2回開催し、13人の参加がございました。

3月25日の春のおはなし会については、1回の開催で10人の参加となります。

次は、わらべ歌と、絵本の親子おはなし会についてでございます。こちら、子育て支援センターで行っているおはなし会となります。日程調整により随時行っているもので、葉山キッズランド、北部コミュニティセンター、向台こども園で実施し、トータル12回開催いたしまして、174人の参加がございました。

次に、本とあそぼう、親子のおはなし会でございます。

こちらは依頼があれば随時行っているもので、親子読書支援コンシェルジュによる親子で楽しめる手遊びや、わらべ歌、本の読み聞かせを行っております。

10回開催いたしまして、42人の参加がございました。

最後にブックトークは、コンシェルジュの事業となります。

こちらは小学生を対象に毎回テーマを決めて本の紹介と、読み聞かせを行うもので、10回行いまして、42名の参加がございました。

場所は、おはなしの部屋で実施しています。1回約15分程度のものとなります。

以上がお話し会関係の実績ということになります。

(学校訪問)

3 ページ目をお願いいたします。上段の表、学校訪問の報告となります。

1 年生を対象に、図書館職員が小学生に赴きまして、図書館や、学校図書館を利用するときの方法と、実際におはなし会を実施し、図書館利用につなげていこうとする取り組みとなります。

各小学校 12 クラスを回りまして、320 人の子どもたちに実施をしているところでございます。

(映画会)

その下、映画会の報告となります。

第 3 水曜日に行っております上映会では、こちら、12 回を上映いたしましたして、3859 人の集客がございました。

上映作品につきましては、一般向けの作品で自主作品やあるいは話題性がある作品など、評価の高い作品を中心に、上映を行っております。

(視察・見学)

次に、右の表、視察、見学につきましては、昨年度 2 件ございました。

特別支援学校の生徒さんと、付き添いの先生方で 25 名です。

その下の白井文化センターは、図書館協議会委員さんと職員さんで 13 名。

こちらについては、複合施設の建設計画があるとのことで、視察に来られました。

(統計)

それでは、4 ページ目、お願いいたします。こちらにつきましては、年度別利用統計となります。

入館者数、貸出者数、貸出者数ともに、平成 30 年度の平常時と比較しますと、コロナの影響あるいは少子高齢化などの利用者層の変化などで、利用の方は低下してきている状況でございます。

今後の傾向として捉えているところといたしましては、令和 5 年 3 月末での図書館の個人登録者の状況と、少し古いデータになりますが、最も登録が多いのは 10 代、次いで 70 代以上、40 代、50 代、30 代、20 代、そして 10 歳未満で 1 番登録が多い世代としては、10 代の登録率が全体の中で最も高い状況となります。

また、貸し出冊数でございますが、12 歳頃から利用の低下が見られます。

主にこの年代につきましては、生活環境が大きく変化することで一時的に図書館利用の意識が低下するののか、減少傾向にございます。

その後、20代後半から徐々に増えまして、70歳前半がピークとなります。

その後、高齢化等による要因で減少していくものと考えられます。今後も、少子高齢化によりまして図書館利用の分母が縮小をすることで、利用者につきましては減少傾向で推移していくのかなという風には捉えております。

令和4年度から取り組んでいる既存事業の強化、あるいはギャラリー展示の効果によりまして、入館者数については増加傾向となっております。

今後も継続して各種事業に取り組み、効果が高まるよう取り組んでいきたいと考えております。

資料の利用についても改善できるよう事業を進めてまいります。その1つとしまして、令和7年3月にシステムの入替えを行った際に、読書通帳システムというものを導入いたしました。

今回、予定ではございますが、8月から読書力の向上策の1つとして読書通帳を希望者に配布いたしまして、活用を図っていく予定としております。

5ページ目、お願いいたします。こちらにつきましては、北部コミュニティセンターの統計となります。

日吉台地区のサービスポイントといたしまして、貸し出しや返却、そしてリクエストなどの受付を行い、読書支援を行っているところでございます。

主な利用者層といたしましては、65歳以上が約60パーセント占めていることから、高齢者の方が多く利用いただいている状況となります。

また、令和3年度以降、コロナの影響もあり、ここ数年、貸し出人数が4000人以上、貸出冊数が8000冊以上のご利用がございました。

コロナ禍前よりも利用が多い状況となっております。

高齢化による移動手段の確保の問題等々により、身近に利用できるサービスポイントとしての活用が図られているのと捉えております。

6 ページ目をお願いいたします。

図書館業務といたしましては、ソフト面の主催事業や指導整備といった部分ではなく、ハード面の施設の維持管理も重要な業務となりますので、ここでは図書館業務全般にご理解をいただければと思います。

参考程度に修繕状況の一覧をお示しさせていただきました。

ここ数年、修繕工事につきましては、100 万円以上の修繕工事が発生している状況となります。

令和 7 年度につきましても、全体で約 500 万ほどの修繕工事が 18 件、重視しております 20 年以上経過する施設となりますので、施設設備ともに大きな経費を要する箇所が増えてきております。長寿命化に対応するためにも、今後大規模な修繕が必要となってきましたことから、優先度を考慮しながら、利用される方が安心安全に施設をご利用できるよう、維持管理に努めていければと考えております。

(ギャラリー展示実績報告)

続きまして、資料 2 の方をお願いいたします。

ギャラリー展示についてのご報告をさせていただきます。

資料 2 をご覧ください。こちらは、とみらいテラス複合化活用の実績報告というものになります。

改めて紹介させていただきます。こちらの富里市立図書館は、令和 4 年 10 月に情報芸術文化の発信拠点として複合化を目指し、その活用を図っているところでございます。

文化芸術を含めた情報発信拠点として施設、活用の推進を図るところで、日本大学芸術学部さんと包括連携協定を結んで展示を行ったり、生涯学習課との連携で令和 6 年度までは芸術文化の発信拠点として、実際のプロのアーティストさんとして活動される方々の展示を行っております。

令和 7 年度につきましても、同様に、文化芸術の拠点としても図書館で実施していきたいと考えております。

続きまして、2 ページをご覧ください。令和 6 年度に実施した展示について報告させていただきます。

まず、4 月は、芸術鑑賞授業、生涯学習課の事業として、三浦鄭街先生という八街市にお住まいの方が展示書道の展示を行ってくださいました。先生は、児童生徒作品展という市内小中学校の

書写の審査を行っている先生でもございまして、多くの方にご来場いただき、3793 人の方にお越しいただきました。

続きまして、5 月の展示につきましては、千葉骨髄バンク推進連絡会による命の輝き展を開催いたしました。

また、5 月、ロータリークラブさんによる展示、絵画の方も展示させていただきました。

こちらは、命の輝き点は 640 人の来館者数、ロータリークラブさんによる展示は 761 人となっております。

続きまして、6 月につきましては、先ほど申しあげました日本大学芸術学部さんとの包括連携協定による展示となっております。馬と写真学科による、馬と人という展示を開催させていただきました。

こちら来館者数は 898 人となっております。詳しくはまた後で内容についてご説明させていただきたいと考えております。

7 月の展示につきましては、金澤安宏先生という、11 年富里高校で美術の先生として務められた方による現代アートの展示を行いました。

こちらの来場者数は 1353 人となっております。

続きまして、8 月の下旬につきましては、こちらも日本大学芸術学部さんとの連携事業による作品展となっております。なりきり建築物という展示を行いました。

実際に建築家の思いなどを考えながら建築物の立体物を作り、自分に身にまとして、それを写真に撮ってポスター展示をするというものとなっております。

こちらにつきましては、好評で、今年度も同じ内容を 6 月に開催しました。

こちらの来館者数は 1059 人となっております。

続きまして、9 月が、鉄道のない富里から鉄道へ思いをつなぐというコンセプトで、軽便鉄道を考える会という団体さんによる展示を行いました。

こちらも塗り絵等を開催したりして、子どもたちに大変好評でございました。2012 人の方に来館していただきました。

続きまして、10 月につきましては、伊場英白先生という書道家による書展を行いました。

伊場先生は、富里市にお住まいの先生でございまして、千葉県内

の中でご活躍されている書道家さんになっております。

この方もたくさんお客様がいらっしやいまして、2906 人の方に来場していただいております。

続きまして、11 月と 12 月につきましては、児童生徒作品展という生涯学習課の事業を行いまして、2 週間に 1 回、展示の内容が入れ替わります。

小学生書写から始まり、次の週に小学校図画の作品を展示し、そのまた次の 3 回目には中学生の書写と図画の展示、最後に、幼稚園、こども園、保育園さんの共同作品を展示しております。

昨年度初めての行いとして、文化祭の共催事業である子ども演劇によるクリスマスオーナメントの展示も一緒に行いました。

多くの親子連れの方が来ていただきまして、小学生につきましては 8134 人、中学生、幼稚園につきましては 2540 人の方に来ていただいております。

続きまして、1 月につきましては、藪内正幸原画展という、絵本の挿絵で有名な方の原画作品を展示いたしました。

実際に、藪内正幸美術館から作品を借用しまして、藪内正幸さんの息子さんである竜太さんという方から快くお貸しいただいて、講演会と読み聞かせを行いました。

こちらにも本当に本が好きな方は、特に絵本を好きな方はよくご存知だと思いますが、本を読む方から喜ばれた展示でございました。こちらにも来場者数が多く、3345 人となっております。

続きまして、2 月は富里中学校美術部美術科の作品展を開催しております。

こちらの来場者数は、1236 人となっております。3 月につきましては、県立の富里高等学校、美術部、書道部の展示を行いました。こちらの来場者数は 1467 人となっております。

3 ページ目をご覧ください。続きまして、2 階にもギャラリースペースがございますので、こちらの報告をさせていただきたいと思っております。

7 月に星見隊の展示を実施しました。また、渡辺勝巳先生の講演会を行いました。多くの方にご来館いただきました。

8 月の展示につきましては、日本大学芸術学部さんの映像学科の学生さんによる第 1 回富里市映画祭をミニシアターで開催いたしました。

こちらの来週者数は92人となっております。

また、同時開催といたしまして、不二本蒼生先生、富里市内のイラストレーターさんで、怖い絵を描く方として有名な先生の展示を行いました。

11月につきましては、成田国際空港のパイプライン展というものを行いました。

こちらでも大変多くの方にご来場いただきまして、5456人の方にご来館いただいております。

1月につきましては、先ほど申し上げました藪内正幸さんの原画のパネルを2階に展示させていただきました。

2月、3月につきましては、選挙ポスターといたしまして、ポスターと書道の展示をさせていただきました。

昨年度は32500人の方に来場いただきました。ギャラリーとしての知名度も上がりまして、今年度は35836人と大幅に来場者数が増えているところでございます。

続きまして、4ページをご覧ください。実際に展示した様子を掲載させていただきましたので、こちらでもぜひご覧ください。

続きまして、5ページをご覧ください。こちら、ポスター、チラシ等も、日本大学芸術学部さんにご協力いただいております。

最後になりますが、9ページをご覧ください。

令和7年度のギャラリーの実施予定の一覧になります。昨年度と大まかには変わってなくて、芸術鑑賞事業が年4回、日本大学芸術学部さんによる展示が2回、児童生徒作品展が2回分、中学生の展示が1回、高校生の展示が1回、図書館の主催事業が2回ありまして、今年度は命の輝き展と、JA共済による書写交通安全ポスターコンクールの特別賞をいただいた方の作品展も開催いたしました。

9月にも図書館事業として開催する予定の展示がございまして、三菱アジア子ども日記フェスタのパネル展というものを開催する予定です。

また、11月は新規で、山田リツさんという漫画家さんによる作品展とワークショップを開催する予定となっております。

わたくしからは以上となります。

【会長】 質問や意見があればお願いします。

【会 長】 (2) の令和 7 年度図書館事業について説明願いたい。

【事務局】 配布資料に基づき説明を行う。

それでは、7 ページお願いいたします。ご説明させていただきます。協議事項、(2)、令和 7 年度図書館事業についてでございます。

事業実施に向けましての目標となりますが、とみらいテラスといたしましては、教育委員会で計画として位置づけられております教育基本、教育振興基本計画の基本理念、そして基本方針、教育施策の実現のために、とみらいテラスでは、資料等の整備及び図書館機能の充実を施策として掲げております。

その実現のために、年度ごとに評価を行う富里教育プランに推進する事業を設定いたしまして、プラン目標に向け、事業の方を実施しております。

今年度の重点推進事業では、とみらいテラス事業の充実としております。

令和 4 年度よりギャラリーコーナーが設置され、本格的に複合施設といたしましてスタートしました読書推進、そして文化芸術事業の推進と展開する事業を通しまして、施設利用や、図書館資料の利用促進につながるよう取り組んでいるところでございます。それでは、8 ページ、お願いいたします。各施策の前に、各計画の位置付けでございますが、右の三角形の中の上段にあります富郷教育振興基本計画は、教育振興に関する施策を総合的に推進するための基本的な計画といたしまして、目指すべき目標や方針、施策の概要などを定めるものでございます。

その下に位置付けられております富里教育プランでは、6 つの基本目標を掲げまして、その実現のために必要な重点項目と、あと関係施策の課題や、本年度に講じる方策などを体系的に整理したもので、毎年、契約の内容につきましては点検、評価を行いながら次年度契約に反映させていくものとなります。

さらに、図書館につきましては、子ども読書活動の推進に関する法律に基づきまして、令和 7 年度から 5 か年の計画として、子どもの読書活動推進計画を策定し、事業に取り組んでいるところでございます。

ここの計画の位置付けといたしましては、目標を達成するためにどのように進めていくかを整理した計画として、上位 2 か年の計

画の目標を実現する、実現させるための実行計画と位置付けております。

また、富里市といたしましては、総合計画の連携、整合を図りながら、本市の人生 100 年時代を見据えた生涯学習の推進ををしていくものでございます。

それでは、各施策でございます。9 ページお願いいたします。

ここで、訂正をお願いいたします。中段の図書館事業の充実の中の最下段、学校図書教室等への支援でございますが、こちら、事前にですね、ご質問があればいただきたいということで思いましたんですが、委員よりご指摘をいただきまして確認したところ、正しい呼称といたしましては学校図書館ですね。

図書室でなく学校図書館等への支援となりますので、この場で、申し訳ございません、訂正の方お願いいたします。

なお、教育プランにつきましては策定済みとなりますので、次年度から今回の訂正を反映させていただければと思います。

ご指摘いただきましてありがとうございました。

それでは、重点推進事業に続いて推進事業となります。

まず、図書館資料等の充実につきましては、様々な利用者様の要望や、ご期待に応えていくには、やはり蔵書の充実は大切なところとなってきておりますので、限られた中ではございますが、資料の鮮度を維持するよう努めてまいります。

また、図書館資料の特色を出す 1 つとして、郷土に関する資料や、行政資料も充実させることも重要となりますので、収集、保存、啓発に努め、郷土資料が育まれることを期待しながら充実に努めてまいります。

次に、既存資料の活用でございますが、限られた中での資料費のため、寄贈資料も積極的に受け入れ、資料の充実に努めてまいります。

6 年度につきましては、全体で約 1700 冊ほどの寄贈がありましたが、受け入れたものとしては約 834 冊、うち郷土関係が 212 冊を受け入れしております。

限られた資料費でございますので、活用できるものは積極的に活用の方を図ってまいります。

次に、図書館事業の充実となります。まず、魅力ある図書館を目指し、令和 4 年度からギャラリー事業を行ってきました。

効果といたしまして、施設に足を運んでくれる方が増えてきておりますので、さらに内容の充実を図りながら、市民生活が潤いのある環境となるよう事業を進めてまいります。

そして2つ目、子ども向け事業の充実では、複合施設化に伴いまして、図書館機能の強化というところになりますが、新規事業や既存事業も含め機会の創出に努め、自然に触れ合える事業を進めていきます。

そして3つ目、親子読書支援の充実では、より利用者様に向けて、アプローチをするため、専任の親子読書支援コンシェルジュを配置しまして、新たな講座を実施し、読書に親しむ機会を推進してまいります。事業、こちらの中にはございませんが、令和5年、6年度のコンシェルジュが利用者アプローチした件数としましては約2300人で行いました。

このような取り組みの中で、より一層利用していただけるよう、ただける事業としてまいります。

そして、学校図書館等への支援でございます。図書館等への支援では、図書館事業と学校の連携を図る上で、月1回行われております学校図書館司書担当者会議に参加をさせていただきまして、連携を図りながら団体貸出資料の充実を図り、子どもたちの読書環境整備に繋がるよう支援してまいります。

学校においても、限られた中での資料費になっておりますので、継続的連携を図りながら、ご意見等も伺いながら取り組んでいければと考えております。

そして最後、社会教育施設の整備として、図書館施設の設備の更新、修繕でございますが、こちらにつきましては長期の重要化を見据えて取り組んでまいります。

それでは、10ページ目をお願いいたします。

こちら、予算関係の資料ということになります。

令和7年度当初予算及び令和6年度当初予算の比較ということになります。

図書館費全体が、令和6年度当初予算60,885,000円に対しまして、令和7年度は66,574,000円、5,689,000円の増額となっております。

図書館費、主な増額の要因でございますが、会計年度任用職員の報酬単価等々、図書館システムの入れ替えという機器賃借料等の

増額となっております。

一方で、資料購入費に関する経費につきましては600万と前年度同額となっております。

資料費については、単なる本の購入費ではなく、地域の知的インフラを支える事業として直接利用者サービスの向上につながるものでございます。

次年度に向けて、その必要性についても理解を求めながら増額できるように努めてまいります。

予算につきましては以上となります。これで協議事項は以上になります。

【会長】 質問や意見があればお願いします。

【委員】 図書購入費は、前年度と変わらない。書籍は高騰にも関わらず予算は変わらない。ここの図書館ができて20年ぐらい経っていますが、その図書館ができた時に大量に購入した本がたくさんありまして、それは悪いことではないですけども、それが新しく、入れ替えていくための予算みたいなものが必要だと思いますが、そういうものがちゃんと考えられているのか、将来、今年の予算は決まってると思いますが、将来、その予算を増やしたいということがあるのかどうかをお示しいただきたい。

【事務局】 ただ今ご質問、お答えさせていただきます。

令和7年度、確かにその図書購入費が低調ということは実感しているところでございます。

一応、毎年、予算要求段階では、増額で計上している状態ですが、過去、財政事情が厳しいという中で、ずっと削られ続けてきたという過去があり、ようやく、令和6年度で、100万弱でしたけども、増額になったというところで、さらなる増額をというところで、計上しながら、財政折衝を進めてるところですので、来年度、増額しますというのは、言いづらいますが、増額というのは、毎年、目指していきながら、財政当局の理解を受けられるようにしていければと思っておりますので、ご理解いただければと思います。

【会長】 そのほか意見があればお願いします。

【会長】 他に質問がないようであれば、次の議題に移りたい。

【会長】 ③のその他について説明願いたい。

【事務局】 ございません。

【会 長】 以上で議事を終了とする。

7 閉会

【事務局】 令和7年度第1回富里市図書館協議会を閉会する。